

スイセン

Aigo 愛護



カマズキ

～創刊号～

創刊にあたり

愛護活動推進にあたっては、各会長様はじめ役員、会員の皆様に、日々、並々ならぬ御尽力をいただいております。ところでございますが、新しい世紀にあつて公園をはじめとする環境美化活動は新たな局面を迎えつつあります。このような現状を受け、時代に対応した愛護活動の啓発、普及に、より一層の努力が必要とされております。

創刊にあたり

平塚市公園愛護会連絡協議会

会長 村澤 京治

このたび、平塚市公園愛護会連絡協議会会報が創刊されることとなりました。

創刊前夜号にもありましたが、平塚市では昭和48年に公園愛護会が設立され、その後、昭和59年各公園愛護会を会員として、平塚市公園愛護会連絡協議会が設立されました。昭和五〇年代後半ですとつい最近のようすがありますが、既に三〇有余年の年月が流れていることに、改めて深い感慨を覚えます。

私自身は、富士見地区（諏訪町会）自治会活動から公園愛護会活動に関わるようになりましたが、母体であります大久保公園との縁は古く、小学校一年生の時の遠足で、市内横内から歩いて大久保公園まで来たことを覚えております。当時は、園内にお山とブドウ棚、大きな池もあり、市内でも有数の公園でした。昭和40年代には、今上天皇が皇太子時代に畜産共進会を御高覧になられたり、昭和50年代には近くの高校から苗を安く譲り受け、花壇を作ったりしました。大久保公園は平塚市内最初の公園ですが、御存じない方も多くあられるかと思えますので、その歴史については、別途、御紹介させていただきます。

本会報の創刊により、公園愛護会活動を広く市民の方々に知っていただくとともに、私達自身の日頃の活動の振り返りと、より良い会の運営に役立てていくことが出来ればと考えております。今後とも、本会の運営にお力添えを賜りますとともに、会員各会のみますの御発展を心より祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

私の公園自慢

伊勢山公園愛護会

伊勢山公園愛護会は、平成9年10月1日に設立致しまして、今年で8年目を迎えました。現在の会員数は11名ですが、公園の清掃、花壇に草花の植栽、灌木の剪定等を行っています。

公園の清掃作業は輪番制で、冬期は週1回他の季節は週2回、市の燃せるごみ収集日の早朝に行っています。これは集めたごみをそのまま処分出来ることと、当愛護会の責任に於いて設置している3つのごみ箱のごみも同時に処分するためです。また、清掃作

業で最も大変な落葉の季節には週 2 回全員参加で対処しています。

草花の植栽は、春秋の「まちぐるみ大清掃」の時と後は草花の手入時期に合わせて作業を行っています。灌木の剪定作業は経験のある会員が中心となって適宜行っています。

これら以外にも各会員が自主的に清掃作業あるいは夏場には植木の水やり等を行って常に公園の環境維持に努めていますが、もし全市の公園でランク付けをしたならば当伊勢山公園は必ずや上位にランク付けされるものと自負しております。

また、我々が整備した公園でお母さんと一緒に小さな子どもさんや幼稚園 / 保育園の子ども達あるいは近所の子ども達が楽しそうに遊んでいるのを見ると何か報われた様な気持ちになります。

一方、公園内に 3 つのごみ箱を設置しているにも係わらずその周辺にまでごみが散乱していることが度々あり、これは特に夏場に多く、モラルの低下が残念でなりません。

今後は会員をもっと増やしてこの活動を続けて行きたいと思っております。

伊勢山公園愛護会会長 飯田昇治



大久保公園愛護会

大久保公園愛護会は、昭和 56 年 2 月 27 日に設立、現在の会員数は 25 名です。今回は、大久保公園にまつわる由来を御紹介いたします。

大久保公園のある諏訪町の大部分は、旧小田原藩主大久保家の所有地でしたが、大正時代にこの地に

宅地造成を行い、縦横に道路を設け住宅地を造りました。そしてその中央に 2400 坪の公園と 600 坪の社地をもつ諏訪神社を祀りました。この公園は市内最初の公園で、現在は地域の子どものためのプール等があります。

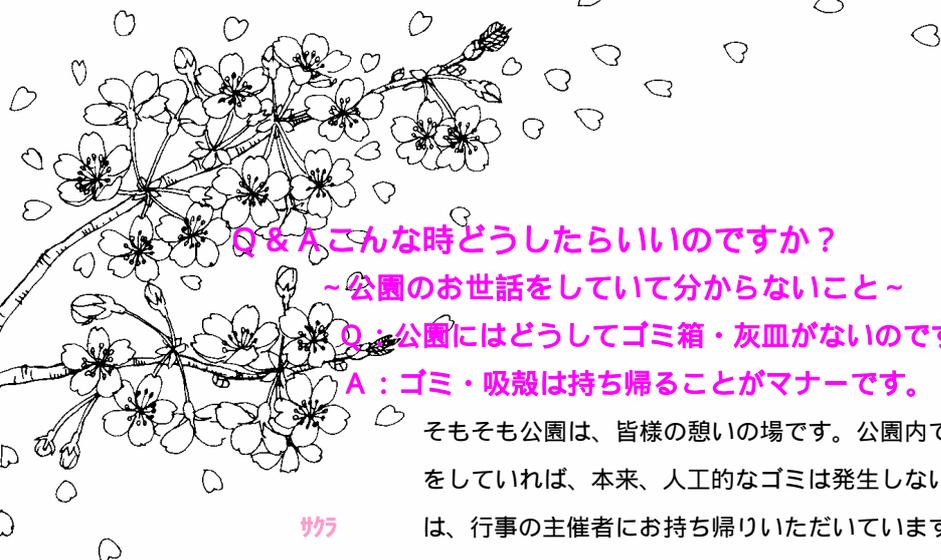
～参考：平塚市郷土史辞典より

境内に合祀された守護神は、犬頭明神と称し、次のような伝説があります。

むかし三河国岡崎の上和田城主泰藤(大久保の先祖)が、ある日鷹狩に出て杉の大木の下で休息し、転寝をしていました。その時頭上の枝から大蛇がかま首を垂らして、今にも泰藤を呑み込もうとしました。その時狩りにつれてきた犬が発見、けたたましく吠え立て主に急を知らせました。眠を妨げられた泰藤は激怒し、犬の首を切り落としました。すると首はそのまま飛び去り大蛇の喉首に噛み付きました。大蛇は地に落ち、のたうちまわって果てました。我に返った泰藤は事の成り行きを知り、この主思いの犬に深く詫び、犬頭明神と称し手厚く祀り守護神としたということです。



～参考：諏訪部神社 由緒より



Q & A こんな時どうしたらいいのですか？

～公園のお世話をされていて分からないこと～

Q：公園にはどうしてゴミ箱・灰皿がないのですか？

A：ゴミ・吸殻は持ち帰ることがマナーです。

サカ

そもそも公園は、皆様の憩いの場です。公園内での過ごし方は利用者それぞれですが、通常の使い方をしていれば、本来、人工的なゴミは発生しないはずですが、お祭等の自治会行事でゴミが出た場合は、行事の主催者にお持ち帰りいただいています。また、ゴミ箱を設置してしまうと、地域の内外から家庭ゴミや事業系ゴミ等の不法投棄の温床となる場合が多く見られます。平塚市としては公園内には原則として、新規のゴミ箱や吸殻入れは設置せず、既存のものについても適宜撤去していく方針です。(ゴミ箱を設置している公園は各愛護会の責任において、分別等していただいています。)

愛護会の公園清掃活動で落ち葉等が集まった場合には、前号にもお伝えしましたが、平塚市みどり公園課まで御連絡ください。

Q：公園でバーベキューや花火等の火気は使ってよいのですか？

A：火気使用が出来るのは、消防署管理課の許可を得た場合のみです。

平塚市内の公園で、火気使用の申請が出来るのは、高麗山公園内子どもの森キャンプ場のみです。みどり公園課で使用の申込と許可を受けた後、消防庁舎内管理課で、火気使用の許可を別途受けてください。なお、それ以外の公園では、火気使用の申請自体をすることが出来ません。(ただし、自治会の祭事等慣例的な行事はこの限りではありません。別途お手続きが必要です。)

Aigo-愛護～ 次号は6月発刊です！

この会報は、会員皆様の各公園を「私の公園自慢」のコーナーで紹介しています。日頃の清掃や花壇の手入等、写真や記事を募集しています。次号に掲載するには17年4月28日が切です。

みな

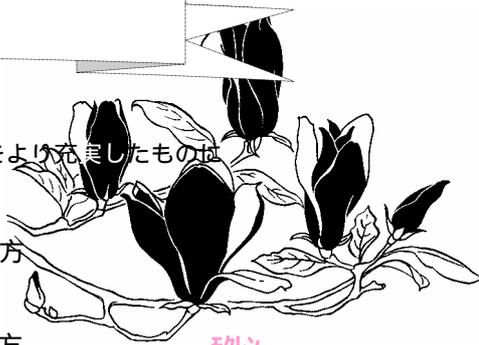
各公園愛護会に所属の会員の方々の力をお借りして、内容をより充実したものにしていきたくと思っています。公園や緑、花が大好きな方、会報を作りたい方、まちづくりに興味のある方、誌面づくりに参加いただける方を随時募集しています。(メールやお便りによるお手伝いも大歓迎です。)

下記の問合先まで御連絡ください。

平塚市役所みどり公園課 電話:0463-23-1111 内線 2176・2515

メール:midori.@city.hiratsuka.kanagawa.jp

高村第2緑地公園愛護会です。「要らなくなった中ッカー」を探しています。清掃用具入れに使おうと思っています。御提供いただける方は右記みどり公園課まで御連絡ください。



モクシ